

「未来高岡」ステップアップトーク（牧野地区）会議記録 ＜要旨＞

1、日 時 平成 28 年 11 月 5 日（土） 午後 3 時から 4 時

2、場 所 牧野公民館

3、出席者 市民 36 名（うち女性 13 名）

高岡市 高橋市長、広報統計課長

4、会議次第

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

.....

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

参加者

- ・ 牧野地区は他市からの転入で人口が増加してきたがそれも落ち着き、牧野地区でも人口減少が一番大きな問題である。人口が減れば経済が縮小してしまう。転入の人口を増やし、牧野地区だけが良ければいいという話ではなく、市全体の人口を増やすためには子どもを増やさなければいけないので、産み育てやすい環境づくりや施策を行ってほしい。

市長

- ・ これまではベビーブーム世代が社会の中心にいたことと、寿命が伸びたことで人口が増えていたが、今はその世代が自然減¹になっている。人口が減れば経済も縮小するが、女性や健康な高齢者の方に社会参加してもらい、能力を発揮してもらいたい。人口を増やすために、安心して子育てでき、自己実現できる社会にしたい。最近祖父母と同居していない家族も多く、そういった家庭が子育てに不安がある時に、近所の方が子育てを手伝ってくれるような地域にしたい。まずは 1 人ひとりが能力を発揮しつつ子どもを産み育てやすい環境を作り、若い世代には子育てをもう少し前向きに考えてほしい。結婚についても、強制することはできないので、結婚したいと思える環境作りをしたい。

参加者

- ・ 結婚したいが出来ない人のための婚活サポートを高岡でも行ってほしい。

市長

- ・ 高岡地区広域圏事務組合で去年から広域縁結びプロジェクトを行っており、出会いの場づくりや縁結びボランティアなどの事業を行っている。以前は行政が結婚に関わることにためらいがあったが、今は様々な方の力を借りて事業を進めようと模索している。昔のように親戚の引き合わせということも少なくなってきた今、志ある方がお世話することが良いことであると行政としても広めたい。

¹ 住居の移動による人口の増減を除いた人口の減少。死亡数から出生数を減じた数。

参加者

- ・牧野地区は運転が出来ないと生活しにくい所もあるので、高齢者の移動手段を用意し、暮らしやすい環境にしてほしい。

市長

- ・路線バスを伸ばせばよいという問題ではないため、地域と行政が協力し合って良い仕組みを作りたい。例えば小勢地区では、行政と地域が協力し地域バスという事業を行っている。牧野地区でどういう仕組みが良いのか、地域で相談しまとめてほしい。

参加者

- ・来年の成人式は地域ごとで開催と聞いたが、そうすると高校での友人と会えなくなってしまうので、できれば全市で開催してほしい。

市長

- ・成人式の分散開催については色々と相談し、悩んだうえで中学校単位での開催を決めた。多くの人が集まった時に問題が起きないようにし、地域の成人を地域で祝う意義を改めて考えていきたい。これからも意見をもらい改善しながら開催していきたい。

参加者

- ・教育委員会から自治会に、中学校単位で開催してほしいという話があり、地域で地域の子どもの成人を祝う機会があっても良いと思った。行政ではなく地域が主体となって祝いたい。今後も話し合いはあると思うので、皆の意見を聞いたうえで良い議論を進めたい。

参加者

- ・牧野地区は万葉線をあまり利用しないので、できれば高岡行きと牧野地区内を走る路線バスを通してほしい。射水市のコミュニティバスを牧野地区まで伸ばしてくれないかとお願いしたが断られている。高岡市と射水市で連携をとって、バスが停まるようにしてほしい。

市長

- ・地域バスの仕組みの検討や、路線バスの運行について射水市とも情報交換し、いろいろな可能性を考えていきたい。

参加者

- ・魅力ある住みやすい環境を作れば、転入してくる人に限りはないと考える。高岡市全体でも同じように環境を整え人口を増やしてほしい。また子どもに優しいまちにしていきたい。

市長

- ・高岡市だけ人口が増えるということにはならないので、人口が減ることを前提に考える必要がある。地域ごとの状況をみて将来をどうするか考えたい。